

ステークホルダーとの「共創」で、新たな住文化を創造 「住ムフムラボ」を開設

2013年4月26日、当社は大阪「うめきた」に誕生する「グランフロント大阪」の知的創造拠点「ナレッジキャピタル」に、住宅業界初のオープンイノベーション拠点を開設しました

生きるコトを、住むコトに。

SUMUFUMULAB

【住ムフムラボ】

「感性」と「技術」が融合する、業界初の情報発信・研究開発拠点

「グランフロント大阪」は、先進のオフィス、商業施設などが複合した、新しい大阪のランドマークです。中でもその中核施設となる「ナレッジキャピタル」は、「感性」と「技術」の融合で「新たな価値」を創出する複合施設として、今までにない商品やサービスを生み出すことを目指しています。

当社は、その「ナレッジキャピタル」内の「フューチャーライフショールーム」において、さまざまなステークホルダーと新たな住文化を創造する業界初のオープンイノベーション拠点「住ムフムラボ」を開設しました。



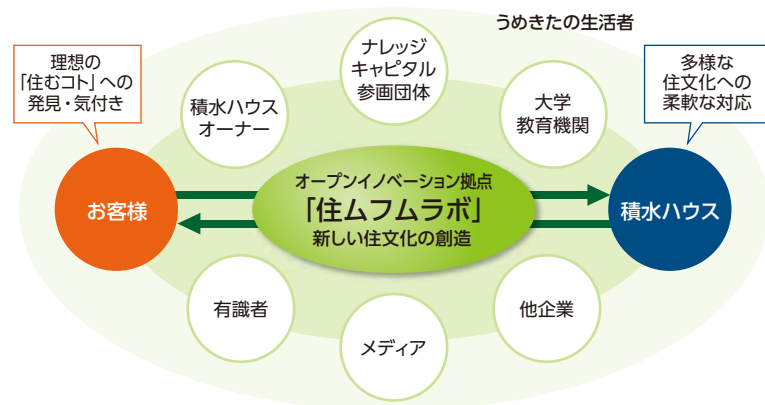
「生きるコトを、住むコトに。」をテーマに ステークホルダーと新しい暮らしを「共創」

家族形態や働き方の変化、コミュニティの多様化、環境共生や健康意識の高まりなど、さまざまな変化が暮らしを取り巻く現代。従来の住宅概念を超え、「どのように住む」のかを考えることは、豊かで快適な人生を送るための大切なファクターであり、その重要性が増しています。

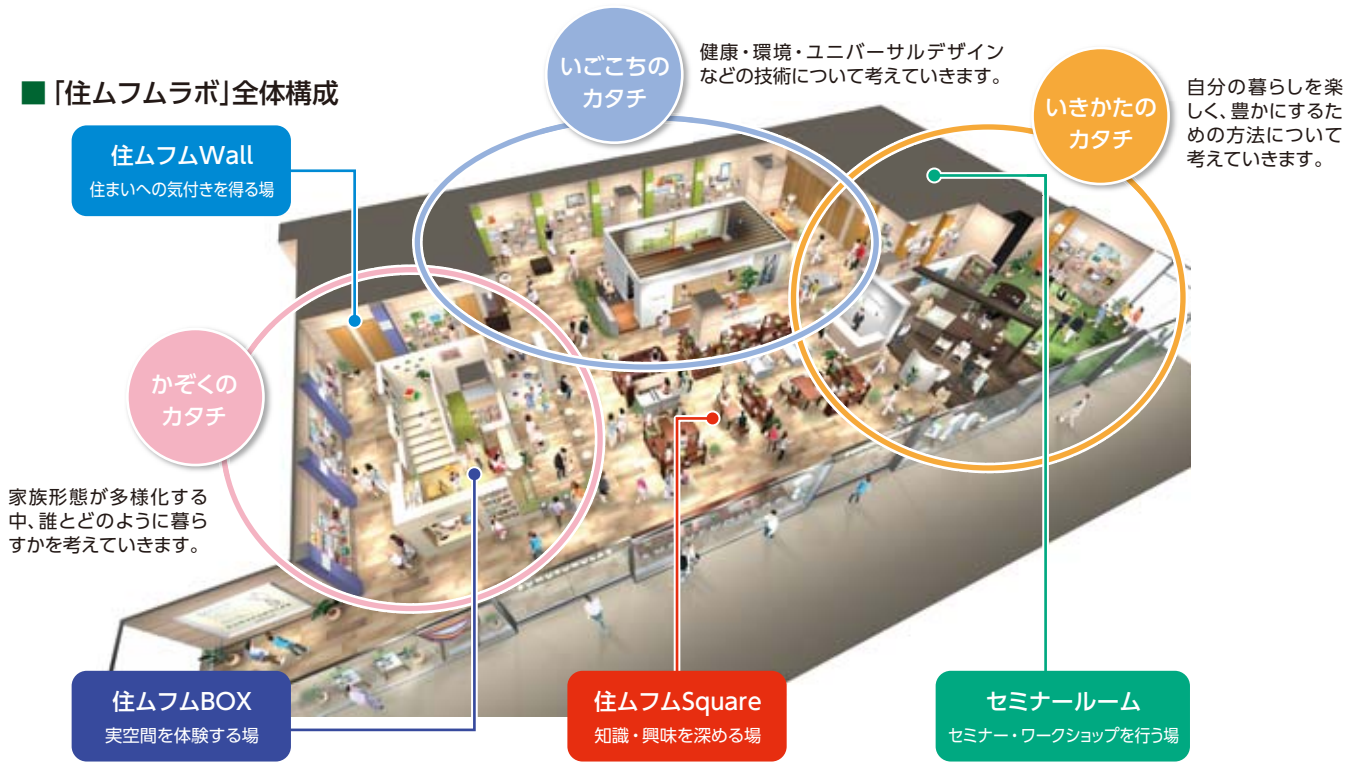
「住ムフムラボ」は、このような社会課題に応えるべく「生きるコトを、住むコトに。」をテーマに、人生をより豊かなものにするために、「住む」時間の大切さを基軸に新しい暮らし方を「共創」していく場です。多様化する暮らしの中で、自分を取り巻く大切な人々と一緒に生きること。健康で心地よい豊かな時間を生きることの重要性を、あらゆる世代や価値観の人々が集う都心「うめきた」で考え、生み出し、発信します。暮らしのプロである生活者（お客様）と、住まいづくりのプロである積水ハウス、さらには有識者、大学・教育機関、ナレッジキャピタル参画団体、メディア、企業など幅広い専門分野の知見・才能の交流を活性化し、「新たなプロジェクト」「新たな価値」を創造するプラットフォームとして機能させていきます。

すべてのステークホルダーが感性を磨きながら、自分らしさを発見できる情報発信拠点として、また、「共創」による仕組みを構築する研究開発拠点として、未来の暮らしを発見していくための仕掛けを次々に導入していきます。

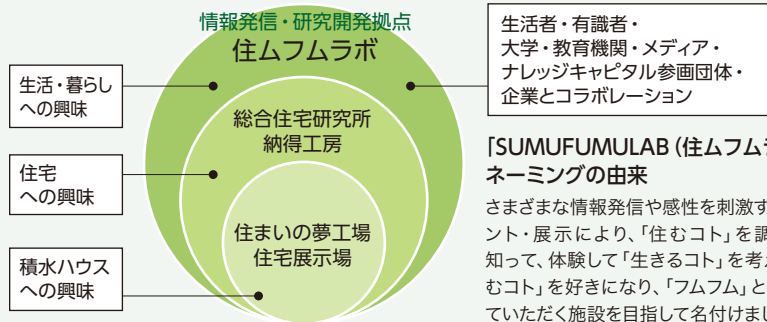
■「住ムフムラボ」の「共創」イメージ



■「住ムフムラボ」全体構成



■ 積水ハウスの公開施設における「住ムフムラボ」の位置付け



「SUMUFUMULAB (住ムフムラボ)」ネーミングの由来

さまざまな情報発信や感性を刺激するイベント・展示により、「住むコト」を調べて、知って、体験して「生きるコト」を考え、「住むコト」を好きになり、「フムフム」と納得していただく施設を目指して名付けました。



「住ムフムラボ」の概要

施設名称：SUMUFUMULAB (住ムフムラボ)
 出展場所：うめきた「グランフロント大阪」ナレッジキャピタル4階 (フューチャーライフショールーム内)
 出展規模：約660平方メートル

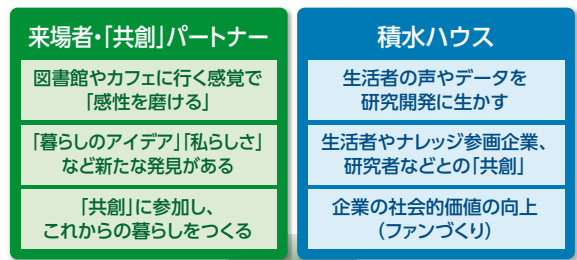
三つのゾーンで実物大の住空間体験、コラボによる「共創」プログラムも実施

「住ムフムラボ」は、「かぞくのかたち」「いごちのかたち」「いきかたのかたち」の三つのゾーンで構成されています。各ゾーンには実物大の住空間が体験できる「住ムフムBOX」、住まいの気付きを得る場「住ムフムWall」、カフェのような空間で知識・興味を深める場「住ムフムSquare」などを備え、来場者は住まいや暮らしの社会的背景から最先端技術までを学び、自分らしさの発見につなげることができます。ワークショップなどのイベントを通して、研究開発に参加することができます。

さらに当社は、暗闇の中で五感が研ぎ澄まされ、普段とは異なる気付きが得られることで話題の「ダイアログ・イン・ザ・ダーク (DID)」との「共創」プログラムとして、「対話のある家」を施設内に開設。長期開催を行います。日本でも10万人以上が体験した画期的プログラム手法を通じて、住まいの快適性の深化、関係性の回復などについて知識を深め、思いをめぐらせることができます。

「住ムフムラボ」では、こうした多彩な取り組みでPDCAサイクルを構築し、来場者や「共創」パートナーと先進技術で実現する新たな価値を創造しながら、「SLOW & SMART」な住文化の発信を行っていきます。

■「住ムフムラボ」での「共創」



共創効果

- 施設や「Web住ムフムラボ」からの情報発信、生活者による情報ストック
- 生活者など多様な人々とのワークショップ、新商品企画
- メディアでさまざまな方面への情報発信

そのほか、ナレッジキャピタル全体と連携したイベントも開催予定です。



ダイアログ・イン・ザ・ダーク

完全に光を遮断した空間へ、グループで入り、暗闇のエキスパートであるアテンド (視覚障がい者) のサポートのもと、中を探検し、さまざまなシーンを体験します。